

江戸当時の賑わいと、明治以降の鉄道網の発達により、東京各地に広がっていった賑わいの様子を、今昔も対比しながら紹介していきます。

第1章 鉄道網の発達と賑わいの広がり

明治5年に鉄道が開通して以降、東京では鉄道網の整備が進められました。大正から昭和にかけて、鉄道網の発達に伴い、観光ブームが沸き起こります。鉄道各社は沿線の開発にも力を入れて、観光名所を宣伝するために「沿線案内図」等を制作しました。これらの貴重な資料を展示し、鉄道網の発達と賑わいの地の広がりをご紹介します。



●『京王電車沿線名所図』(都立中央図書館所蔵) 吉田初三郎 京王電気軌道・出版 1928.1
「大正広重」とも称された鳥瞰図の第一人者、吉田初三郎による沿線案内図。深大寺、京王閣、多摩御陵、高尾山などの沿線の名所が紹介されています。



「東京動脈」を特別に展示します！
(栗山貴嗣氏制作・所蔵)

スタンプラリー開催

図書館内に置かれた5つのスタンプ。その全てを集めた先着3,000名様にオリジナル手ぬぐいを差し上げます。
※スタンプラリーは企画展示室(4階)で受付けます。

司書によるギャラリートーク

期間中、15時から司書による資料紹介を行います。
(公開講座開催日2月4、10、18日を除く。)

第2章 各地の賑わい

明治以降、各地に広がっていった賑わいの様子を「花」「水」「寺社」のテーマごとに、たばこと塩の博物館と当館の貴重資料によりご紹介します。



●『江戸近郊春秋遊興図屏風』(たばこと塩の博物館所蔵)
作者不明 1818～1830頃
隅田川岸の庶民の行楽を描いた屏風絵
期間限定で①春の花見【(左) 1月20日～2月15日】、②秋の紅葉祭り【(右) 2月17日～3月11日】を展示します。



●『小金井堤の桜』 絵葉書『花の東京』に所収(都立中央図書館所蔵)
出版者不明 [19-]
江戸時代から桜の名所として知られた玉川上水堤の桜並木



●『有喜寺護摩堂』 絵葉書『高尾山風光』に所収(都立中央図書館所蔵)
東京交友舎・出版 [192-]
高尾山頂にある薬王院有喜寺



●『東京名所四十八景 洲崎乃汐干』
(都立中央図書館特別文庫室所蔵)
昇斎一景 1871
潮干狩りの名所であった現在の江東区洲崎の浜辺を描いた錦絵

SNSフレームあります！
写真を撮ってSNSに発信しよう！



Description provided both in English and Japanese